

The Center for the Study of the Presidency and Congress  
2012-2013 Presidential Fellows Program 学生募集要項

## 1. 主旨

米国の若者の公共奉仕、リーダーシップ育成を目的とし、大統領制度、政策プロセス、メディアとの関わり等を研究する機会を同フェロープログラムは提供しています。毎年米国のトップ大学の学生、最大 75 名が参加し、2010 年度は全米各地の大学から 66 名が参加しました。

2011 年度から(株)トヨタ自動車の支援により、国際的視野を持つ日米関係の次世代人材の育成に資するため、日本人学生にも門戸を広げ、各大学を通じて、\*日米研究インスティテュートが最終選考を行います。

採用された学生は10月の第1回フェローシップ会議に参加し、ホワイトハウスや議会のスタッフらと意見交換を行う等、政治の現場を体験します。また、自ら関心のある政治・政策に関わる課題について研究を行った上で、レポートを提出し、3月の第2回フェローシップ会議で発表することが求められます。

## 2. 概要・スケジュール

(1)研修地: 米国ワシントン DC

(2)研 修: <第1回フェローシップ会議>

期間: 2012 年 10 月 28 日(日) - 11 月 4 日(日)

内容: 議会、政府訪問、メンターアサイン、ディスカッション研究テーマ決定等

<第2回フェローシップ会議>

期間: 2013 年 3 月 17 日(日) - 24 日(日) (予定)

内容: 研究成果発表 等

(3)経費: 渡航費、現地滞在費、ホテルでの食費 DC 内での会議にかかわる交通費は CSPC が負担。

(但し、現地での医療費、海外旅行保険費用は除く)。詳細については選考決定後に配布される「International Welcome Packet 2012-2013」を参照のこと。

## 3. 応募資格(以下のすべてを満たしていること)

(1)正規生として本学に在籍する学部・大学院学生。留学中の学生も対象とする。

\*例年米国側フェロー学生は、参加時に学部4年生であるが、大学院生や優秀な4年生以下の学部学生も応募可能。

\*全ての学科・専攻からの応募が可能。

傾向として過去のフェローの専攻、副専攻は、「政治」、「歴史」、「国際関係」、「ビジネス」、「哲学」、「経済」、「公衆衛生」、「ジャーナリズム」。

(2)プログラム参加期間も本学に在籍していること。

(3)日本国籍を保有していること。

## 4. 応募条件

(1)成績優秀であること(CSPC では US 学生には GPA3.5 以上、平均して A-の成績が望まれる)。

(2)英語による議論、ライティング能力が米国学生と比べても問題ない能力を有していること。また、アメリカ政府、国際関係への強い興味を持つとともに、ディスカッションの場で日本の時事問題について語ることで貢献できること。

(3)米国大統領制(U.S. Presidency)・米国議会等に直接関連するテーマでオリジナルの研究を行うこと。10

ー15枚(シングルスペース)の最終報告書を2013年5月までに作成すること。その他、CSPCの要請に応じてProposalやBlog Post等の作成等に応じること。

- (4)プログラム参加において、授業履修や研究指導等に支障がないこと(授業や学事を理由とした参加期間途中の辞退・中止は認められないので注意すること。)
- (5)参加期間中の不慮の事故や疾病をカバーする海外旅行保険に加入すること。
- (6)当プログラムに参加する学生に対し所属大学の教員がFaculty Advisorとなり、その教員がプログラム期間中レポート作成時などに実際に学生に対してアドバイスをすること。

## 5. 出願方法

- (1)提出書類：
  - ①2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書(提出様式1)※注1
  - ②Application for International Students (提出様式2)※注2
  - ③英文履歴書(CV)(書式自由)
  - ④Nomination Letter(書式自由:「資料6」のサンプルを参照)※注3
  - ⑤学業成績証明書※注4
  - ⑥語学能力証明書(写し)(TOEFL等)※注4

※注1:様式1については、必ずPC入力したものをご提出願います(手書き不可)。「各大学所見欄」については、4.応募条件(2)英語での議論、ライティング能力、アメリカ政府・国際関係への興味、日本の時事問題への関心に関する所見をNomination Letter作成者よりご記入願います。

※注2:提出様式2の中でパスポートサイズの写真提出を求める文がありますが、必要ありません。また、様式2についても様式1同様手書きは不可とします。

※注3:Nomination Letterは所属大学の教授もしくは学部・研究科長からで、学生を推薦する人によって書かれる必要があります。内容は簡単に学生の本プログラムへの適性についてと学生の本プログラム参加にあたって所属大学がサポートしていることを明記してください。

※注4:提出書類⑤と⑥については学内選考でのみ使用することとし、学内選考による推薦決定者についてもUSJIへ提出することはありません。

なお、⑤学業成績証明書については、学部入学以降の成績で入手できる最新のものまで(平成23年度前期まで或いは平成22年度末までの成績証明書)をご提出願います。

- (2)提出先: 研究国際部留学生課
- (3)提出締切日時:平成24年3月7日(水)

## 6. 選考方法

【学内の選考】応募書類により国際交流推進機構協議会幹事会で1名を選考の上、USJIへ推薦します。学内選考結果については所属部局を通じて本人に通知します。

【USJIの選考】各大学で1名選考された上、日米研究インスティテュート(USJI)で最終選考が行われる。最終選考結果は、USJI日本オフィスより各大学窓口および学生本人へ連絡されます。

## 7. 個人情報の取り扱い

提出書類①～④に記載された情報は、全て各大学事務局を通じて、USJIおよびCSPCに提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は、厳重に管理の上、このプログラムの目的以外には使用いたしません。

【関連URL】

CSPC 概要：<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program>

参加校：<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program/fellows-schools>

前年内容：<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program/international-presidential-fellows>

【問い合わせ先】研究国際部留学生課 担当:濱田(内線:2489)

\*日米研究インスティテュート(USJI)とは、2009年4月、京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学(幹事校)の5大学が中心となり、安全保障、環境・エネルギー、東アジア共同体・APECを研究テーマの柱として、ワシントンD.C.に設立した米国NPOとしての資格を取得しているシンクタンクです。将来の日米関係を担う次世代人材育成もミッションの1つです。

URL: <http://www.us-jpri.org/index.html>

以上